THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2020～2021
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ．真実かどうか

Ⅱ．みんなに公平か

Ⅲ．好意と友情を深めるか

Ⅳ．みんなのためになるかどうか

事務所　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL　072-683-1158　　FAX　072-683-1174
URL　　http://www.takatsukirc.org/
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日　毎週水曜日　12:30～13:30（9/16 は 12:30～13:10）
例会場　高槻阪急 6 階 多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長　井前憲司　**幹事**　内本繁　**クラブ運営委員長**　長山正剛　**会報担当副委員長**　坂野信一

No.10　　2020 年 9 月 16 日　発行

９月は基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

第 3217 回　本日（9/16）の例会

◎　ソング・・・我等の生業
◎　卓話　　浦中　郁文君
　　「　お祭り　」

第 3218 回　次週（9/23）の例会

ガバナー公式訪問

◎　ソング・・・日も風も星も
◎　卓話
国際ロータリー第 2660 地区　2020-2021 年度
ガバナー　簡　仁一様

※9/30(水)は、定款による休会

先週（9/9）の例会から

◎ゲスト　　計 1 名

国際ロータリー第 2660 地区　2020-2021 年度
IM 第 2 組　ガバナー補佐
西川　正一様　大阪淀川 RC

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
50　名	39　名	100　%
前々回例会補正後出席率　100　% 但し、　Mup　0　名　　欠席者　0　名 出席規定摘用免除有資格者　4　名		

8 月度皆出席表彰

岩井　祐造君　　通算26年
大角　敏子君　　連続 1年

◎会長の時間

複雑系の考えで、ブラジルに蝶が舞ったらニューヨークで恐慌が起こる、というのがあります。全く何の関係・関連性が無い事柄がつなぎつながって予想も付かないことが起こるという理論の例えです。ティッピング・ポイントともいいます。些細で重要とは思えない変化がしばしば不相応なほど大きな結果をもたらすことを指します。平穏な世界が急激に変化する現象、今まさに我々が直面している事態だと思うのですが、ウイルス感染もそうです。昨年までは、誰も短時間に人が死に、病院が崩壊寸前に追い込まれ、人の移動がフリーズするなんて思ってもいませんでした。話を戻しますが、この理論のきっかけはNY の靴屋さんで今まで年間 3 万足しか売れなかったものが、宣伝も何もしていないのもかかわらず急に 50 万足も売れ出した。また有名なブロンクスは危険な地区の代名詞みたいなところであったが重大事件は半減していった。もちろんこれだけで理論が完成されたわけではなく難しい物理計算を駆使して完成させていったのですが、では現実にはコロナ以外にどんなことが身近にあるでしょうか。ニュースを参考に探してみますと、アメリカで黒人のフロイドさんが警察官に膝で押さえつけられ窒息死する事件がありました。その映像がネットで世界に拡散された結果、各地で予想もしなかった大規模なデモが発生しました。多分アメリカでは警察官による黒人への雑な扱いは、職務遂行での注意事項にもなく

ロータリーは機会の扉を開く

ホルガー・クナーク　RI 会長

日常茶飯事ではなかったのかと、あの映像を見て思いました。何人かの黒人が死んでおり、警察官へのおとがめも無かったから当たり前のように膝で首を長時間押しつけていたのでしょう。これが、いわばブラジルの蝶とすれば、ほぼ盤石では無いかと思われたトランプ大統領の優位さと大統領選挙の情勢に大きな影響を与えているようです。

今まで、民主党の大統領候補は数人出ており、どう集約させていくのだろうかと見ていたのですが、湾岸戦争の国防大臣パウエルの一言もあって、トランプ再選はさらに難しくなってきたのではないでしょうか。また、強面のボルトン氏の暴露本などトランプには向かい風が吹いています。今まで考えられなかったことです。フロイドさんの死を蝶々に例えたのは不謹慎であったかもしれませんが世の中どう変わるかわからない話の一つです。

さて、コロナが流行りだして、世の中が変わってきたことは何点かあると思います。身近なところでは外出時もマスク着用するというのがあります。マスクがなければ大急ぎで取りに帰る、買い物に行くのに財布を忘れたような、しまった感を伴っているのではないでしょうか。欧州をはじめとしてアメリカの方もマスク文化は無かったのに、今では彼らなりのカラフルなマスク姿で外出している。これは規則化されたためもあるでしょうが、他人に迷惑をかけないという文化が底流にあったため、一旦理解できればそれが新たな風習として定着したのでしょう。日本でも、大阪人は東京に比べマスク着用率が多いそうです（大フィル指揮者の尾高忠明氏の感想ですが）。大阪人は意外と真面目なんですね。私はマスクはどうかと聞かれたら、今のところ疑問が多いのですが、公衆衛生のアフターコロナ時代には素直に従わねばと思っています。というところで会長の時間を終わります。

◎ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第 2660 地区　2020-2021 年度
IM 第 2 組ガバナー補佐　西川　正一様

皆様こんにちは。国際ロータリー第 2660 地区 2020-21 年度 IM 第 2 組ガバナー補佐を仰せつかっております大阪淀川 RC 所属の西川正一でございます。本日は 2 週間後に簡仁一ガバナーが貴クラブに公式訪問されますが、その 2 週間前のガバナー補佐訪問となります。

例会前に井前会長、内本幹事、羽根田会長エレクトと事前懇談を 1 時間ほどさせて頂きました。まず、素直に思いますのは、IM 第 2 組におかれまして、高槻 RC は会員数が多く、会員の年齢も 30 代前半の方から各年代に渡り幅広く、IM 第 2 組の 15 クラブの平均から申し上げましてもバランスがとれているなと思いますし、例会出席率もとても高いと思います。今年度は奉仕活動においては、このような情勢下では現場に出向くのはなかなか難しいですが、これまでにされてこられた奉仕活動を拝見いたしますと、青少年活動や米山奨学生の受け入れなどコンスタントに活動されているなと感じました。

今年度井前会長が重点をおかれていることは 2 つございますが、まず 1 つ目は「ロータリーの基本に戻る・ロータリーの基礎を学ぶ・ロータリーの歴史を学び直す」であり、会員の皆様と一緒にロータリーを再認識しようとされておられます。簡ガバナーが掲げていらっしゃるスローガン「BACK, To the FUTURE～基本に戻って，未来へ（ロータリーの基本を再認識・ロータリーアンとしての誇りと自信を・ロータリーの未来をつくる）」は「Back to the basis and try to the future」が元となっており、この混乱の中で活動がしにくい中でもあえてロータリーの基本に戻るという Back to the basics の部分に井前会長は重点をおかれていらっしゃいますので、簡ガバナーがお聞きになられたらきっと喜ばれると思います。2 つ目に重点をおかれているのは、「地域のニーズを取り込み活動に生かす」です。とても素敵なテーマだと思いますし、地域の皆様のニーズに応えてロータリー活動として実のあるものにしていただけたらなと思いました。

日本国内のみならず、ロータリー活動においてはインターネットの活用が急速に進んでおりますので、マイロータリーや地区のホームページなど活用していただけたらと思います。印刷物でいえば今現在はロータリーの友がございますが、いずれはデジタル化され配信という形におそらく変わっていくでしょう。ロータリアンの皆様もご自分の意見を発したり、ロータリーの友に投稿したり、色々な情報を得るにあたり、これからはインターネットをご活用頂きたいと思います。このように RI をはじめとして全世界のロータリークラブにインターネットの活用要請がきております。地区といたしましても、皆様のニーズにお応えできるようホームページを充実させデジタル化に力を注いでおりますので、紙ベースのニーズがまだまだあることは承知しておりますが、ご理解頂きましてご対応いただきますようお願い申し上げます。地区からマイロータリーや地区ホームページへのアクセスの方法などの説明にお伺いすることもできます。多数のクラブがオンライン例会・オンライン会議などをすすめておられますので、貴クラブ様におかれましてもチャレンジしていただけたらと思う次第でございます。

本日は、私の思うところをお話させていただきました。ありがとうございました。

◎9/9 卓上花

ケイトウ ･･･ おしゃれ

スプレーカーネーション

･･･ 美・友情

◎幹事報告

・9/3(木)に事務局から会員の皆様へ連絡させていただいておりますが、9 月定例理事会にて 9/9(水)以降の例会は当面の間引き続き食事なしでの開催と決定致しましたので会員の皆様へご連絡申し上げます。状況により変更があった場合は、改めてご連絡させていただきます。宜しくお願い致します。

・国際ロータリー第 2750 地区東京米山ロータリーE クラブより「医療物資支援プロジェクト第 2 弾」のご案内が届いております。クラブ会員関係の医療・介護現場等での利用の為や、地域内医療機関への支援活動に役立てて頂く為の医療用 N95/KN95 マスクをこのプロジェクト委員会を通して格安で購入できます。9/11(金)が申込の締め切りとなっており期日までの時間がございませんので、クラブとしての採用は見送らせていただきます。一般の方も購入できますので興味のある会員の皆様は、事務局へお問い合わせ下さい。宜しくお願い致します。

・高槻市交通安全推進協議会より「秋の全国交通安全運動」と「高槻市交通安全推進月間」のポスターが届いております。後方に掲示しております。

・高槻まつり振興会より「今年はおうちで高槻まつり 2020」協賛のお礼状と DVD が届いております。今年は高槻まつりが開催できませんせしたが、それに代わるものとして J:COM チャンネルの特別番組で 8/22・23 に「今年はおうちで高槻まつり 2020」が放映されました。この放映 DVD をご覧になりたい方は事務局に置いておりますのでお申し出いただければと思います。宜しくお願い致します。

・ローターアクト第 1 回地区献血のご案内が届いております。大阪府内の輸血用血液が不足する夏と冬の年 2 回実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度は 10 月の 1 回のみの実施となります。お一人でも多くの皆様にご協力をお願い致します。65 歳以上の採血できないロータリアンの方も献血者のご紹介やよびかけ、応援等のご協力よろしくお願い致します。

【日　時】2020年10月11日（日）※雨天決行
【集　合】集合9：50 開会10：00 閉会16：00（予定）
【場　所】①イオン大日前 ②京橋駅前
③樟葉駅前④梅田 HEP 前⑤難波バス停横
※事前登録が必要となりますので、参加を希望される方は、事務局までご連絡下さい。
【活動内容】①400 ㎖献血
②街頭での一般の方への献血の呼びかけ PR

・記念切手「日本のロータリー100 周年」についてのご案内が日本のロータリー100 周年実行委員会から届いております。この記念切手は 9/18(金)に発売され、切手の購入のほか「郵趣のための押印サービス」がございます。ご案内に関しましては、今朝（9/9(水)午前中）事務局よりメールにて送信またはメールをされない会員には印刷して例会ポケットに配布させていただいておりますので、ご確認頂きますようお願い致します。尚、各個人で購入いただきますようお願い致します。

・事務局は、9/28(月)～10/1(木)臨時休業とさせていただきます。通常休業と合わせると、9/25(金)～10/4(日)が事務局休業日となりますのでご注意下さい。尚、休業予定日（9/28(月)～10/1(木)）に急遽事務局の仕事が入った場合は、予定を変更して出勤とさせていただきます。宜しくお願い致します。

◎委員会報告

○国際奉仕委員会　　羽根田　茂子

・ポリオプラスへの寄付をお願いします。今年度は地区の目標金額の設定はございませんが、当クラブでは 1 人あたり 50 ドルを目標としております。前年度に引き続き今年度も 1 人あたり 6,000 円以上の寄附を宜しくお願い致します。

○ゴルフ同好会　　岩﨑　貞治

・高槻グリーンライオンズクラブより「高槻グリーンライオンズクラブチャリティゴルフ大会のご案内」が届いております。この大会は医療従事者を支援するためのチャリティゴルフ大会となっております。当クラブの例会日と開催日が同日となりますので、井前会長にご相談させていただいた上で、今回はクラブとしての参加はしないことと決まりましたのでご報告のみとさせていただきます。宜しくお願い致します。

【日　　時】2020 年 11 月 11 日(水)　8：00 スタート
【場　　所】新大阪ゴルフクラブ
【競技方法】18 ホールストロークプレーダブルペリア
セルフプレー
【定　　員】160 名
【プレー費】5,000 円
※限定昼食付。飲み物、売店は各自支払い
【寄 付 先】高槻市新型コロナウイルス対策支援

○クラブ運営委員会　　浦中　郁文

・9/13(日)三好の里 BBQ ガーデン（旧かじか荘）にてバーベキューを開催致します。今回は BBQ と新入会員歓迎会を兼ねて開催致します。送迎バスは 11：00 京都銀行高槻支店前出発となりますので、遅れないようお願い致します。当日は、かき氷、輪投げ、スーパーボールすくいを大人も子供も交えて、みんなでワイワイ楽しく出来たらと思っております。宜しくお願い致します。

【日　　時】2020 年 9 月 13 日(日)11：30～14：30
【場　　所】三好の里 BBQ ガーデン
【送迎バス】11：00 京都銀行高槻支店前出発
【登 録 料】会員・ご家族　7,000 円
小学生以下　　2,000 円
3 歳以下　　無料

◎卓話

「　私の履歴書　」　　赤羽　卓

三井住友信託銀行の赤羽と申します。この度は歴史と伝統ある高槻ロータリークラブ入会の承認を賜り誠にありがとうございました。今年 6 月に入会をさせていただきました。東京の自由が丘支店から異動してまいりましたが、初の大阪勤務、初の単身赴任にも慣れつつあるところでございます。もっと早く「私の履歴書」としてこの場でご挨拶申し上げなければならないところ、私の都合で遅くなってしまい、申し訳ございませんでした。本日卓話のお時間を頂戴して「私の履歴書」を紹介させていただきます。

私は 1968 年 7 月 9 日に長野県の南側に位置します飯田市で生まれまして今年で 52 歳になります。父と母と 3 歳上の兄がおります。父も母も長野県出身なのですが、私が生まれた後は、東京都の八王子市に移り住み、現在でも両親は八王子市に住み続けております。両親はともに今年で 83 歳になったのですが、実は先日母が貧血になって転倒しまして、腰骨の亀裂骨折をおこしまして自宅療養をしているのですが、このコロナ禍で高齢者との長時間面談は避けた方がいいという考えから、十分な見舞いもできず、八王子の実家に 5 分だけ様子を見に行っ

て帰る、ということを数回繰り返しておりました。早く新型コロナが収束し、これまでの日常が戻ってくることを願うばかりと強く思う次第です。

私の話に戻りますが、私は、八王子に大学を卒業するまで住んでおりました。当時八王子は東京近郊のベッドタウンとして人口増加が進んでいるときでして、当時通っておりました地元の公立小学校も総勢1,000名程度の在校生がいるマンモス校であったと記憶しております。私の小学校時代は両親も周りの大人たちもあまり勉強しろとやかましく言わなかったことも幸いし、いつも友達とサッカーや野球をして遊んでばかりいました。小学校卒業後は小学校の隣が中学校でしたので何ら迷わず、そのまま隣の公立中学校に進みました。当時の八王子の中学校はいわゆる“ツッパリ”と言われる人たちがいて、現代よりは荒れていたという印象です。校舎のガラスがいつもどこかで割られたり、校庭にバイクが走行したり、それを先生が走って追いかけたり（追いつくわけがないのですが。）等々、日常でいつも何かが起こっていました。当時テレビ放映されていた金八先生の影響もあったかもしれません。ツッパリになったのが、小学校時代にサッカーや野球をしていた友人たちでして、気のいい友人のも多くいました。何となく時代がそうさせていたのかもしれません。

中学校卒業後は、埼玉県にあります立教高校（現在は立教新座高校）に進学しました。地元の八王子を出て知らない街に行ってみたい気持ちもあり、通学には1時間ぐらい要したのですが、新鮮な気持ちで通っていたのを覚えています。高校では柔道部に入部しました。元々格闘技が好きで、自分自身も「強くなりたい」という欲望があって、ほぼ初心者状態で入部しました。顧問の先生は、柔道の総本山である講道館で指導もされていた方で、精神面、肉体面で大変強く、自分自身にも相手にも厳しい方でしたが本当に尊敬できる方でした。そういう先生の指導の下、日々の練習は本当にきつくて、辛くて何度辞めたいと思ったか数え切れません。夏合宿では近くの県警の道場に出稽古に行き、投げ飛ばされ続けておりまして、いつも逃げ出そうと思っておりました。ただ続けるうちに、自分の体が筋肉質に変わっていく様子や、技を覚えて試合に勝ったりするとうれしくなったり、優秀な成績を残すことは出来ませんでしたが、二段を取得することができたりで、逃げ出すことなく卒業まで続けることができ、自分なりに満足いく柔道経験でした。柔道部時代は精神、肉体の両面が本当に鍛えられた期間であり、今の社会人生活においてもつらい局面では心の支えとして大いに役に立っております。当時あまりにきつくて柔道が嫌いになったこともあるのですが、今ではオリンピックでは最も興味のある競技です。

高校が大学の付属校でしたので、楽をしてそのまま大学も立教大学に進学しました。学部は社会学部社会学科です。大学では何をしようか？サークルとかは向いてないか？等々いろいろ考えてところ、高校の柔道部の先輩が毎年1名づつの割合で体育会アメリカンフットボール部に入部しておりまして、その先輩から勧誘を受け、練習を見学したりするうちにアメフトに対する興味が次第に沸き上がり、入部することを決めました。アメフトはフィジカル面の強さが求められるとともに、情報、戦術が勝負のカギとなります。対戦相手を調べ上げ、弱点を見つけ、戦略的にどう攻めるか、どう守るかを試合前にどれだけ準備できるかが大変重要なスポーツです。また一つ一つのプレーも多彩で、確り理解していないとこれまでのつらい練習が無駄になることもあり、毎日の練習、特に試合前は緊迫感のある練習をしておりました。大学4年（1990年）の春、私自身人生初の関西遠征で阪急西宮球場で名門の関西学院大学と試合をしました。その時の観客数、歓声がすごく、試合中にチームメンバーの声がほとんど聞こえないほどでKGの人気の高さを実感したのを覚えています。アウェイ感満載の中で試合をしたのですが、ここで勝利すれば格好いいのですが結果は敗退でした。その後の秋のリーグ戦がシーズンの本番なのですが当時はバブル期であった影響もあり、横浜スタジアムや東京ドームでときにはテレビ中継付きで試合をさせていただける等、学生アメフト界も華やかしき時代でした。

大学卒業後は住友信託銀行（現在の三井住友信託銀行）に入社しました。就職活動は大学4年の春にしていたのですが、アメフト部の練習もあったためあまり企業を回れなかったというのが実情です。練習の合間を見て限られた時間の中でOBや年の近い先輩を頼って企業を訪問したりしておりましたが、縁あって今の会社への入社となりました。今就活をしている学生さんにも機会があると「“数年後、この人のようになりたい”と思えるような人がいる会社を選んでください」と伝えているのですが、私もそんな感覚で今の会社を選びました。

1991年（平成3）に入社後、研修明けに千葉県の津田沼支店に配属となり、社会人人生をスタートしました。初めは店頭（窓口）でご来店されるお客さまのご対応をさせていただく担当を務め、数か月後に主に個人のお客さまを担当する外回りの担当となりました。当時の主力商品でした「ビッグ」の販売を主に担当しながら、当時の津田沼は、生産緑地法の改正により市街化農地にアパートを建築される地主さんが多かったエリアでもあったのでローンのお手伝いをさせていただく機会も多く、受信、与信業務ともに忙しくさせていただきました。また、学生時代は、スポーツばかりしており勉強をあまりというかほとんどしていなかったため、信託銀行員にとって必須資格の宅建の他、各種業務試験の取得に向けて勉強し始めたのも、そして日常の業務をこなす中で、計画的な学習の重要性を痛感しましたのもこの頃でした。

津田沼支店での約4年間で不動産業務に絡むことが多く、自分自身ももっと深く携わりたいという思いから、不動産業務の専門部署を希望しておりましたが、そのステップとして不動産売買の仲介実務を修得するために住信住宅販売㈱（現在の三井住友トラスト不動産㈱）に業務出向（トレーニー）となりました。主に居住用不動産を中心とした不動産仲介の実務を1年間経験後、1996年（平成8）に信託銀行内の東京八重洲にありました不動産営業部に配属となりました。この部署では主に企業が保有するビルや工場、社宅、マンション素地等の業務用不動産の売買の仲介業務を担当しました。当時のあたりから各企業で「持たざる経営」が主流化し、本業や収益に繋がらない不動産は売却のうえ、その売却資金を本業に活用するという流れが強くなりつつあり、バブル崩壊で当初鈍っていた不動産売買が徐々に活発化していった時期でした。

不動産営業部で約6年間勤務した後、福岡支店に異動になりました。福岡支店でも不動産部に配属となり、主に業務用不動産売買の仲介業務を担当しました。初の九州地区の勤務でしたが周囲から「福岡は本当に住みやすく良いところ」と言われて、来てみたら本当にその通りでした。食べ物が大変おいしいことは言うまでもなく、レジャー関係も充実しており休日の度に家族で出かけておりました。業務においても当時福岡天神周辺は地元企業、不動産会社の他、東京をはじめとする他の都道府県企業が興味を示す注目エリアでしたので、自分なりに様々な不動産案件に携わることができ、大変充実し、勉強になる日々を送っておりました。また福岡支店では、案件があれば九州エリアのほぼ全域に出向いて案件対応をしており、沖縄県の案件を担当したことは今でも大変印象深く残っております。

福岡支店で２年間の勤務ののち、また東京の不動産営業部に異動となります。東京に戻りました 2004 年頃から不動産マーケットが盛況となり、売買取引も一層活発化していったため忙しい日々を送っておりましたが、やがて 2006 年頃から「ファンドバブル」と言われる時代になり、国内外の不動産ファンドが売買当事者となる不動産取引が増加していきました。不動産取引が活況を呈することにより地価が上昇していく手触り感を感じていた中、今でも強く記憶に残る金融危機（リーマンショック）が発生し、その影響を大きく受け、不動産取引も激減していきました。ファンドバブルによる地価上昇と金融危機による地価下落を一連の時期に体験しましたが、激動の貴重な体験は今でも忘れられないものとなりました。

その後 2009 年から新人当時以来の個人のお客さまを担当させていただく業務となり、渋谷支店に異動となりました。ここでは主に富裕層のお客さまに対し、不動産や遺言信託、事業性ローンをご提案し、相続対策をはじめとする各種の課題解決に向けたご提案をする業務を担当させていただきました。個人のお客さま担当からしばらく離れておりましたが、お客さまのニーズを確り捉え、的確なご提案をすることでお客さまの課題解決のお手伝いをするということに法人、個人に何ら変わりはありませんでした。当時では新しい役割でしたので新鮮な気持ちで業務に取り組んでおりました。

その後三井住友信託銀行となりましたが、ほぼ同時期に初の本部勤務となり、個人のお客さま業務における営業推進、営業企画等を担当し、その後池袋支店、自由が丘支店で初の支店長後、今年の４月に初の関西勤務、初の単身赴任となります高槻支店の辞令を受けました。

大阪も大変いいところです、と聞いて赴任したのですが、この環境下でもあり、思うように出歩けず、まだ良さを実感できていないというのが実態でございます。早くこれまでの日常に戻り、大阪の良さを積極的に体感できる日が来ることを強く願っております。

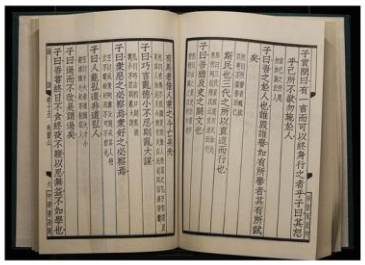
少し家族の話をさせていただきますと、妻とは最初の配属先の津田沼支店で知り合い、結婚しました。1996 年4月に結婚しましたので来年で結婚25年になることに今気づきました。単身赴任の準備等で苦労をかけましたので、世の中が落ち着いたら京都に旅行でも行こうと話をしております。子供は長男と次男の２人ですが、長男は日立グループの企業に昨年就職し、現在は札幌に勤務しております。次男は明治大学の２年生で体育会のラクロス部に所属し毎日痣だらけになって練習に励んでおります。自宅は千葉県浦安市にあります。4 人家族ですが今は妻と次男の二人で自宅に住んでおります。お盆休みは久しぶりに４人揃いましたが、次に集まるのは年末年始になると思います。それぞれ住んでいる場所は別々ですが、それぞれ元気であれば善し、と思っております。

最後になりますが、人生 100 年時代を謳歌するためのサポート役として、信託銀行の役割を確り果たすことで、地元の方々にとって本当に役に立つ信託銀行になりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。ご清聴まことにありがとうございました。

◎卓話

「　『論語』を学ぶ　」　　香西　徳治

『論語』を学ぶ



香西 徳治

昨年４月９日の閣議後の記者会見で、麻生財務相が紙幣を４年後の２０２４年度上半期をめどに刷新されることを発表しました。新しい１万円札には「近代日本経済、資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一の肖像画が使われています。

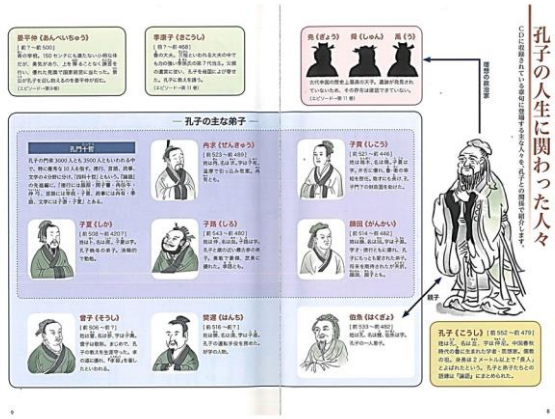
加えて、来年の NHK 大河ドラマは現在放映中の明智光秀「麒麟がくる」の後に、渋沢栄一が主人公の「青天をつけ」が放映されます。主人公は、幕末から明治へ、時代の大渦に翻弄され挫折をくりかえしながらも、青天をつくかのように高い志を持って未来を切り開きました。「緻密な計算」と「人への誠意」を武器に、近代日本のあるべき姿を、追い続けた渋沢の熱い生き方を描くそうです。来年の放映を本当に楽しみにしております。書店には暫くは、渋沢栄一に関する書籍が並ぶことと思います。

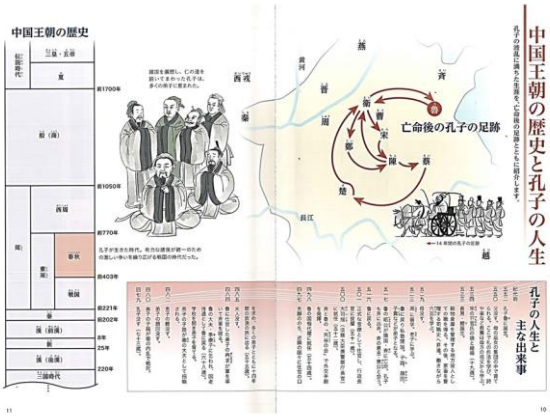
渋沢栄一について皆様方は、十分ご存じだと思いますが、私は本日、卓話の機会を頂きましたので著書「論語と算盤」を読み返し、勉強してきました。情けないことに、本書は漢文調の文章が読みづらくツンドクになっていました・・・今回、一気に読む良い機会となり、感謝しております。

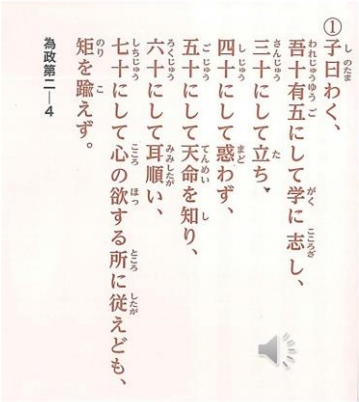
渋沢は、江戸の末期から明治の激動にあって近代日本の礎を築いた、日本が誇る偉人です。

＊１８４０年（天保１１年）３月～１９３１年（昭和６年）１１月、満９１歳死没、
職業：幕臣、官僚、実業家、教育者

彼が設立に関わった会社は、みずほ銀行、東京瓦斯、王子製紙、帝国ホテル、京阪電鉄、キリン、サッポロビール等々なんと４８１社とされ（東京商工会議所調べ）、それ以外に社会貢献にも尽力し、日本赤十字社や複数の病院、大学の設立等５００以上の社会公共事業に関わり、ノーベル平和賞の候補にも、１９２６年と１９２７年に、２回なっています。参考までに、日本人として初めて湯川秀樹が物理学賞を受賞したのは戦後１９４９年です。渋沢がこうした事業活動の基盤に常に置いていたのが「論語」の教えでした。「士魂商才」（武士の精神と商人の才覚をあわせ持つ）を提唱し、富をなす根源は仁義道徳、正しい道理の富でなければ、その富は永続することができないと、常に「私」より「公」「国家社会の利益」を優先して考え、行動しています。私は、現代で言えば企業の社会的責任（CSR）、持続可能性（Sustainability）を重視する経営かな・・と思います。又、ロータリーの目的のひとつ「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」に似た考えかな・・と思います。







時間の関係で渋沢の話はこれ位にしておき、本日は、この渋沢が「『論語』を社会で生きていくための絶対の教えとして、常に自分の傍から離したことはない」と述べている論語について少し話しをさせてもらいます。

論語とは２５００年前の春秋時代の中国の思想家であり哲学者、そして儒教の祖である孔子(前５５２～前４７９年)の言行や、弟子たちとの問答を記録した思想書です。その主題である人間の正しい生き方の核心は「仁」、まごころと思いやりであると解され、後世の人々に大きな影響を与えてきました。孔子が弟子たちに語った言葉、あるいは、当時の為政者たちとのやりとりを２０編・約５００の章句（短文）にまとめたのが「論語」という書物になります。我が国では、江戸時代の寺子屋や藩校などで一番盛んに読まれていたといわれています。

実は、私は渋沢の「論語と算盤」を読み、渋沢がバイブルとしていた論語を勉強しようと思い、論語塾、安岡定子先生の「やさしい論語」の CD を購入し、章句毎に声をだして素読（先生の読み上げた後の掛け合い）をして、自分なりに理解、得心したら次の章句に進むように計画しておりましたが、怠惰な私の性格及び能力に起因して計画は中断していました。本日は皆様方の前で、「論語を学ぶ」というテーマで話させていただき、これを良き機会と考え、再度計画通り、論語を学びたいと思っております。又、皆様方のなかで本 CD を聞いてみたいと思われる方がおられましたら、いつでも気軽に、香西まで声をかけて下さい。

以上、拙い卓話を御清聴ありがとございました。

ご清聴
ありがとうございました

◎例会後の行事
・クラブアッセンブリー
【開催時間】13：30～14：30
【開催場所】ホテルアベストグランデ高槻
【参 加 者】25 名（西川ガバナー補佐・会員 24 名）

◎ニコニコ箱報告

・誕生記念内祝　　光本君（ありがとうございます！）
・入会記念内祝　　馬渕君
・創業記念内祝　　松下君（お祝いを頂き有難うご座居ます）
・卓話聞いていただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。　赤羽君
・西川さん、本日は有難うございました。有意義なお話いただきました。　井前君
・卓話を聞いていただきありがとうございました。　香西君
・西川ガバナー補佐、高槻 RC にお越しいただきましてありがとうございました。　内本君
・ガバナー補佐西川様、本日はお越し頂きありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。　藤松君

本日の合計	￥	40,000-
7/1 よりの累計	￥	543,000-

◎R 財団への寄付

香西　徳治君 ￥ 5,000-　松下　浩章君 ￥ 5,000-

本日の合計	￥	10,000-
7/1 よりの累計	￥	255,000-
年次基金会員より	￥	255,000-
ポリオプラス会員より	￥	0-
一人当たり平均	$	48.11

◎米山奨学会への寄付

香西　徳治君 ￥ 5,000-　内本　繁君 ￥ 5,000-

本日の合計	￥	10,000-
7/1 よりの累計	￥	232,500-
会員より	￥	110,000-
ｸﾗﾌﾞより	￥	122,500-
一人当たり平均	￥	4,650-

◎青少年育成基金への寄付

井前　憲司君 ￥ 5,000-　香西徳治君 ￥ 5,000-

本日の合計	￥	10,000-
7/1 よりの累計	￥	65,000-